

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社IHIターボ					
代表者名	氏名	来海 光太	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県木曾郡大桑村須原1417					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	車両用ターボチャージャーの製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	5,527	5,361	4,966	5,138	4,838
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	10,218	9,911	9,174	9,496	8,919
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	28		27	25	25
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	46				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.ihl.co.jp/itj
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

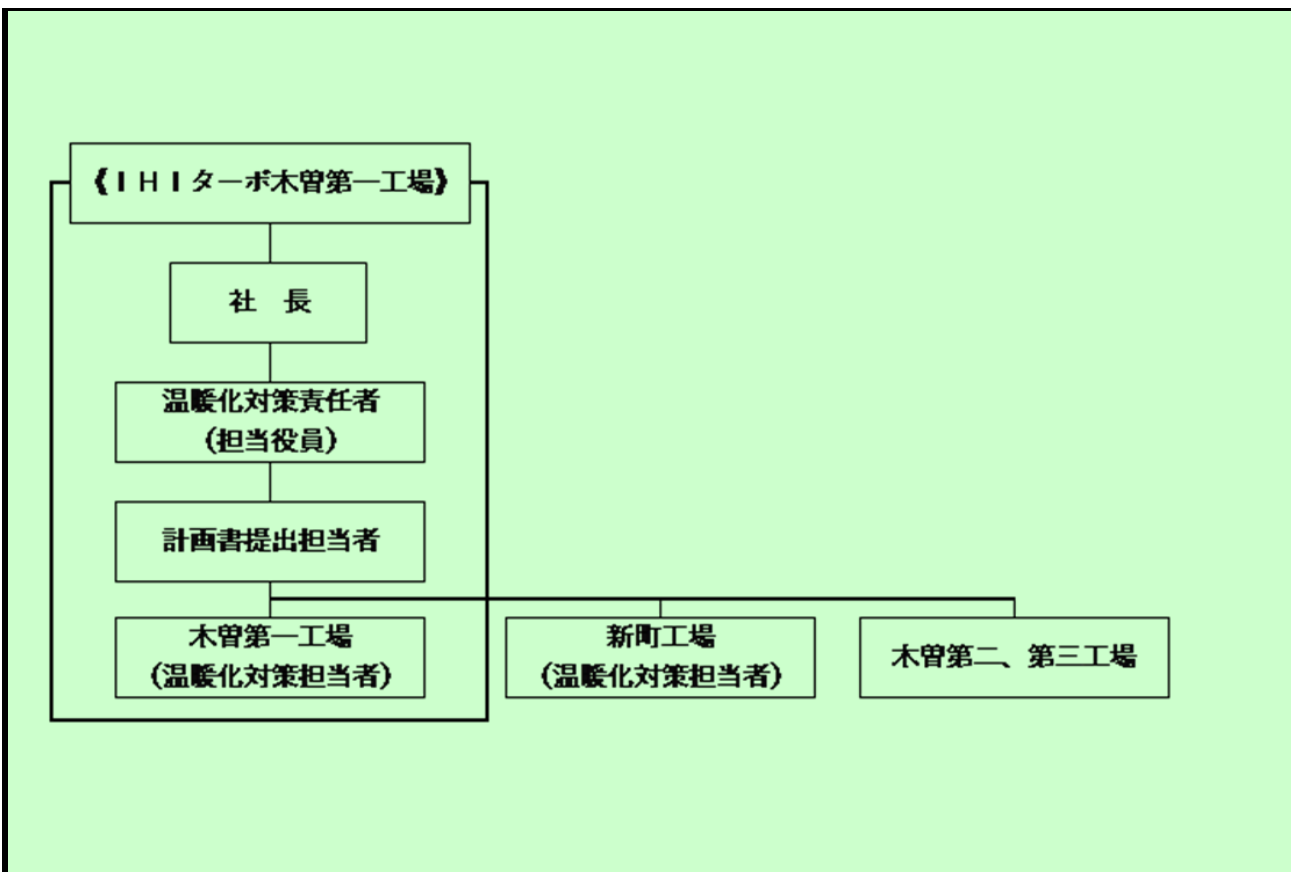
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

弊社、環境方針を基に環境目標を定め、環境負荷低減活動を行う。

《重点テーマ》

- (1) 省エネルギー・省資源活動の推進
- (2) 水質汚濁防止 装置設備の改良と管理体制の強化
- (3) 廃棄物に関する3Rの推進

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境管理委員会を4回/年開催
全社目標（公害・省エネ・廃棄物削減）をもとに各部門で目標を策定し、環境負荷低減活動に取り組んでいる。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10,218	t-CO ₂	生産数量	2,383.00	単位	千個
2019年度	調整後排出量	10,218	t-CO ₂	基準原単位	4.29	t-CO ₂ /	千個
目標年度	目標排出量	9,911	t-CO ₂	目標原単位	4.29	t-CO ₂ /	千個
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	0.00	%	
目標設定に関する説明	<p>排出量については、第二種指定工場として前年度比1%削減し、3年間で3%削減を目標とする。 原単位については、景気動向や生産数など不確定な部分が多いので、現状より悪化させないように取り組む。</p>						
第一年度	排出量	9,174	t-CO ₂	生産数量	2,069.16	単位	千個
	削減率	10.21	%	原単位	4.43	t-CO ₂ /	千個
2020年度	調整後排出量	9,174	t-CO ₂	原単位削減率	-3.27	%	
	削減率	10.21	%				
排出量等の増減理由	<p>2020年度のコロナウイルス流行に伴い上期で生産調整（工場稼働の停止等）を行い、稼働日数が削減したこと等により排出量そのものは基準年度に対して約10%削減された。しかし、原単位については生産台数が、当初計画数(2154千台)より4%減産した為、達成出来なかった。 仮に当初計画数を生産した場合には、CO₂の排出量が9233t-CO₂となり、原単位が4.286t-CO₂/千台(基準年と同等)と予想される。(2016~19年の生産数とCO₂排出量の近似線：CO₂排出量(t-CO₂)=0.6918×生産数(千台)+9691.7(t-CO₂)より推定)</p>						
第二年度	排出量	9,496	t-CO ₂	生産数量	2,236.46	単位	千個
	削減率	7.06	%	原単位	4.25	t-CO ₂ /	千個
2021年度	調整後排出量	9,496	t-CO ₂	原単位削減率	0.93	%	
	削減率	7.06	%				
排出量等の増減理由	<p>2021年度はお客様の状況が改善傾向にあり、2020年度に比べ生産数が108%と増加したため、CO₂排出量は104%と増加したが、原単位については96%と低減出来た。</p>						
第三年度	排出量	8,919	t-CO ₂	生産数量	1,839.04	単位	千個
	削減率	12.71	t-CO ₂	原単位	4.85	t-CO ₂ /	千個
2022年度	調整後排出量	8,919	t-CO ₂	原単位削減率	-13.06	%	
	削減率	12.71	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>各工場での生産効率のアップに取り組んだことによりCO₂の排出量を削減でき、目標を達成することができた。一方で半導体不足などの影響もあり、生産数量が2019年度と比べ77%と減少したため、原単位での目標達成には至らなかった。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	46	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201	空気調和の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
2	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
3	エネ起	360704	コンプレッサーの吸気管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
4	エネ起	360705	ポンプ、ファン、ブロワー、 コンプレッサー等の保全管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
5	エネ起	380702	照明設備の保全管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
6	エネ起	410702	事務所機器の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
7	エネ起	380752	LEDの導入	2020～ 2022		2020～ 2022	
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	2	7,204	2	6,703	2	6,979	2	6,550
1,500k1未満	2	3,014	2	2,471	2	2,517	2	2,369
合計	4	10,218	4	9,174	4	9,496	4	8,919

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2	3	3	4
合計	2	3	3	4
自動車総数	28	27	25	25
次世代車導入割合	7.1	11.1	12	16

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	該当せず
自転車の利用促進	駐輪場を整備し活用促進しています
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	製品搭載率向上を推進

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2002年
	名称	ISO14001:2015	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	大桑村と「森林の里親推進事業」の契約を締結		2014年

1.5 自由記載欄

・2014年に大桑村と「森林の里親推進事業」の契約を締結して以来、大桑村・木曾森林管理署南木曾分署合同植樹祭への参加と植樹後の森林整備を行っている。
 ・廃棄物削減の取り組みとして、梱包方法を木製木枠から段ボールへ変更し、リサイクルを推進している。